

事例12 思考展開シート

(1) 疾病や薬の副作用等の影響は考えられますか？

- ・5~6年前頃より物忘れ等の症状があり、徐々に認知症の進行がみられるが、周りの人の協力で何とか一人暮らしをしていた。
- ・2年程前に脳梗塞を発症する。

【質問】

現在の認知症の重症度と進行の進み方はどのようなものでしょうか？

【回答】

- ・日にちや曜日の感覚はほとんどなく、入浴日などもわからない。時間は時計を見て確認している。自室や寝る場所は理解している。
- ・施設に入所してから、急に認知症が進んだと感じる。
- ・要所要所で援助があれば、なんとか一人暮らしが可能であったが、現在の状態では難しい。

【質問】

記憶障害においての特徴などはありますか？

【回答】

- ・自分の住んでいた場所、実家、子供の自宅がわからなくなっている。

(2) 身体的痛み、便秘・不眠・空腹等による苦痛の影響は考えられますか？

- ・なし

(3) 悲しみ・怒り・寂しさ等の精神的苦痛、また本人の性格等の影響は考えられますか？

- ・誰とでも話すことができ、他者との交流は良好。
- ・周りにもともと知っている人がいない。

【質問】

Aさんにとっての現在の一番の不安はどんなことでしょうか？

【回答】

- ・自分の思う物がどこにあるかわからないこと。

(4) 音・光・味・臭い・寒暖等感覚的な苦痛を与える刺激の影響は考えられますか？

- ・なし

(5) 家族・介護者など周囲からの過剰、あるいは少なすぎる関わりの影響は考えられますか？

- ・家族が近くにいない。ほとんど面会がないが、もともと一緒に生活はしていないため、本人との会話において娘の話が出て来ることはほとんどない

【質問】

周囲の利用者は一人暮らしを続けてきたAさんにとって、どのような存在なのでしょうか？また職員はどのような存在なのでしょうか？

【回答】

- ・周りの利用者に対しては、初めて施設で一緒に泊まっていると思っている様子。
- ・以前よりデイケアを数年利用していたため、施設の職員との理解はある。何か訴えがある場合は、職員へ声をかける。

本人の言葉や状態
ワークシートC- に書いた、本人の言葉や行動を書き出し、関連のありそうな情報を整理してみましょう。

- ・自分の思いや希望が形になって表れないため不満がある。
- ・自分一人から大勢での生活になった。
- ・自分で全てできていると思っている。

(6) 障害程度・能力の発揮に対して、住まい・器具・物品等物的環境による影響は考えられますか？

- ・2年程前まで一人暮らしをしており、不十分ながらも自分の好きなように身の回りのことをしていたが、施設に入所することにより、生活、行動が自分の思いどおりに行かなくなった。

【質問】

空間的な問題として、思いどおりでないのは特にどんな点でしょうか？

居室（あるいはデイルーム）の状況と、以前過ごしていた家の状況での大きな違いはどのようなものでしょうか？

【回答】

- ・自宅と施設では環境に違いがある。（大勢の人がいること、ある程度時間に制約がある、棟外へ自由に行き来ができない、自宅では畳の間で、使い慣れた物がほとんど。）

(7) 要望・障害程度・能力の発揮と、アクティビティー（活動）とのズレによる影響は考えられますか？

- ・家に帰りたい、自分でできていると思っているが、火の不始末などがあり、身の回りのことを自分ですることは難しい。

【質問】

本人がしたいと思っていることで、現在実際にAさんの能力が保たれている部分、損なわれている部分（支援が必要な部分、まったくできなくなっている部分）は？

【回答】

- ・包丁を使い、野菜類を切ったりすることは（どのように切るのか指示をすれば）上手く作業するが、火の管理はできない。

(8) 生活歴・価値観等に基づいた暮らし方と、現状とのズレによる影響は考えられますか？

- ・一人暮らしだったため、時間や行動が自由であった。
- ・他人と生活をした経験がなく、周りの物は全て自分の物であった。（隣の家の花も勝手に摘んでしまうこともあった。）

【質問】

本人の生活の中で、物質的な豊かさ（経済状況など）はどのような状況だったのでしょか？

【回答】

- ・年金も十分にあり、好きなように近所の店で買い物をしていた。

【質問】

「おしゃれ」であったとか、衣類に関する本人の関心はどのようなものであったのでしょうか？

【回答】

- ・特別に洋服に執着があった様子ではない。